

医薬品・食品安全学 Safety of Foods and Drugs			
対象	6年次 薬学科	担当	中村 幹雄

1. これから学ぶ内容

薬剤師は、食品衛生管理者となる資格を有するので、食品に関する専門性も求められる。医薬品および食品の摂取によるヒトへの危害（ハザード）の種類と特徴を学ぶ。毒性学を基本とし、製造レベルからヒト個人レベルに係る安全性に係る視点を学ぶ。医薬品では有効性と安全性のバランス、食品ではハザードが起こる確率を考慮したリスクの管理であるので、その規制システム等のマネジメントについて学ぶ。さらに、ヒトへの作用を目的とした特定保健用食品の開発と安全性確保に係る擬似体験の演習を行う。

2. 学習の目標

医薬品および食品の摂取によるヒトへの危害の予測と安全性に係る視点を身に付けるとともに、薬剤師として幅広い分野で活躍できることを学ぶ。

3. 授業計画（現時点の予定です。）

- 第1回 医薬品の安全性、食品の安全性
- 第2回 危害の確立とリスク
- 第3回 医薬品の危害、食品・食品添加物の危害
- 第4回 医薬品および食品・食品添加物の安全性評価法
- 第5回 医薬品および食品・食品添加物の毒性とその予測
- 第6回 医薬品および食品・食品添加物の臓器障害とその機序
- 第7回 医薬品による代表的な有害作用
- 第8回 食品・食品添加物による代表的な有害作用
- 第9回 医薬品間相互作用
- 第10回 医薬品と食品の相互作用
- 第11回 食品間相互作用、食品と食品添加物の相互作用、食品添加物間相互作用
- 第12回 医薬品と食品の規制緩和
- 第13回 保健機能食品の制度
- 第14回 医薬品及び食品のリスクマネジメントと薬剤師の役割
- 第15回 期末試験

4. 教材：プリント配布

5. 評価方法：出席（20%）、レポート・ミニテスト（30%）、期末試験（50%）の予定

6. 薬学教育モデル・コアカリキュラム：C11(1)、C17(1)、

7. 質問先：

薬剤・製剤学 医薬品・食品安全学研究室